



東京広告協会「広告未来塾」

第2期のご案内

「広告未来塾」開講にあたり

2017年、東京広告協会の70周年事業の一環として「広告未来塾」を開講いたしました。

この塾は広告界に集う次世代を担う若い人たちが、広告界の最高・最新の知見を学び、将来に渡る人的ネットワークを築いて頂く、東京広告協会ならではの創発と交流の場を提供出来るものと自負しております。

広告界がこれからもイノベティブで活気に満ちた業界であり続けるため、志の有る皆様からの参加をお待ちしています。

東京広告協会 理事長 大平 明



公益社団法人
東京広告協会
TOKYO ADVERTISING ASSOCIATION

第2期塾長より

未来の広告のエコシステム

本企画の課題は、未来の広告はどうなるのか、そして我々はどうしたらいいのか、ということである。

が、それにつけても、広告のみならず、取り巻くコミュニケーションやマーケティング、ひいては経済や社会の変化にはきわめて激しいものがある。しかもおそらく、この変化は一回限りのことではないだろう。変化が変化を求め無限に変化を重ねて行くスパイラルなのだ。このような時、たんなる知識やノウハウは本質的には無力である。変化のたびにまっさらな心で事態に当たって行く勇気というか体質が求められることになる。

広告未来塾にあたり、未来を担う方達には、自分で感じ、自分で考え、ものを大きくとらえる習慣をつけてほしい、そんなことを願って企画しました。広告活動はいくつかの要素の関係で成り立つエコシステムです。このエコシステムには、抜本的な組み換えが必要であると私は考えています。

そうしたことを考えるにあたり、今回はその中から重要な5つの要素、

ーインサイト、 プランニング、 ワード、 コミュニケーション、 エグゼキューション

を選び、それぞれの局面から未来の広告を占ってゆきます。

現在、最先端で活躍する諸氏に話していただきます。また、受講の皆さんとのインタラクションによる、将来のネットワークづくりのきっかけになればと思っています。

元井 康夫

株式会社電通 顧問 彫刻家

1955年生 1979年 東京藝術大学卒業、電通入社。

セールスプロモーション部門をへてクリエイティブ部門へ異動。CMプランナー、クリエイティブディレクター、ECDとして多くのクライアントより高い信頼を獲得。

クリエイティブ局長、クリエイティブ担当執行役員を歴任後、常務執行役員としてクリエイティブを中心にソリューション全体を担当。2018年1月より現職。



テーマ

全体テーマ 『未来の広告のエコシステム』～広告はこれからの社会でどう働くか～

各回テーマ

- | | |
|---|------------------|
| 【第1回】 7/18 (水) 「未来の広告のエコシステム」 | 元井 康夫 (電通) |
| 【第2回】 8/29 (水) 「インサイト、現代の人間観について」 | 岡本 裕一郎 (哲学・倫理学者) |
| 【第3回】 9/18 (火) 「プランニング、自由なアイデアについて」 | 樋口 景一 (電通) |
| 【第4回】 10/24 (水) 「ワード、最も基本的なプラットフォームとしての言葉について」 | 伊藤 公一 (電通) |
| 【第5回】 11/14 (水) 「コミュニケーション、PR視点でコミュニケーションを設計する」 | 嶋 浩一郎 (博報堂ケトル) |
| 【第6回】 12/11 (火) 「エグゼキューション、未踏領域へ踏み出そう」 | 朴 正義 (バスキュール) |

第2回 「インサイト、現代の人間観について」 岡本 裕一郎

哲学・倫理学者 玉川大学教授

1954年、福岡に生まれる。九州大学大学院文学研究科修了。博士(文学)。九州大学文学部助手を経て、現在は玉川大学文学部教授。西洋の近現代思想を専門とするが、興味関心は幅広く、領域横断的な研究をしている。著書に、『いま世界の哲学者が考えていること』(ダイヤモンド社)、『12歳からの現代思想』(ちくま新書)、『モノ・サピエンス—物質化・単一化していく人類』(光文社新書)、『ポストモダンの思想的根拠—9・11と管理社会』(ナカニシヤ出版)など多数。



第3回 「プランニング、自由なアイデアについて」 樋口 景一

電通 CDCセンター長 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター

国内で広告キャンペーンのディレクションや商品開発を行う一方、海外での事業開発案件を多数手がけるなど広告領域を越えた活動をグローバルに展開。最近では発展途上国を中心に地域や国家ブランディングに携わる。カンヌ国際広告賞金賞など国内外の受賞多数、審査員歴多数。

2008年より武蔵野美術大学非常勤講師。著書に「発想の技術」(電通)、「社会人思春期の歩き方」(廣済堂出版)、「仕事という名の冒険 世界の異能異才に会いに行く」(中央公論社)。



第4回 「ワード、最も基本的なプラットフォームとしての言葉について」 伊藤 公一

電通 クリエーティブディレクションセンター長 ECD コピーライター

コピーライターとして入社。以来、現在に至るまでクリエイティブの現場に携わっている。最近では単一の商品ではなく企業全体のクリエイティブディレクションに興味がある。2017年は伸び盛りのコピーライターを集め、コピーゼミを主宰。クリエイティブの基礎体力としての言葉の力の大切さを、痛感している。昨年から名刺の肩書に、クリエイティブディレクションセンター長、ECDに加え コピーライターを復活させた。



第5回 「コミュニケーション、PR視点でコミュニケーションを設計する」 嶋 浩一郎

博報堂ケトル 代表取締役社長・共同CEO クリエイティブディレクター/編集者

1993年博報堂入社。04年「本屋大賞」立ち上げに参画、NPO本屋大賞実行委員会理事。06年、既存の手法にとらわれないコミュニケーションを実施する「博報堂ケトル」を設立。カルチャー誌『ケトル』、エリアニュースサイト『赤坂経済新聞』編集長など。12年下北沢に共同事業として「本屋B&B」を開業。編著書に『嶋浩一郎のアイデアの作り方』(ディスカヴァー21)、『企画力』(翔泳社)、『人が動く ものが売れる編集術 ブランド「メディア」の作り方』(誠文堂新光社)など。




第6回 「エグゼキューション、未踏領域へ踏み出そう」 朴 正義

バスキュール 代表取締役 クリエイティブディレクター

1967年、東京生まれ。2000年にバスキュールを設立。エンターテインメント性の高いインタラクティブコンテンツづくりで、カンヌライオンズ、D&AD、ニューヨークADC賞、文化庁メディア芸術祭など受賞歴多数。ここ数年は「データエンタテインメント」をキーワードに、イベント/テレビ/プロダクト/サービスなど領域を超えた新しいクリエイションに挑んでいる。AR/VRコンテンツ開発においても独自の取り組みを行い、話題を呼んでいる。2014年、次世代クリエイター育成スクール「BAPA」運営開始。2015年にテレビの新体験づくりに挑む(株)HAROiDを日本テレビと合併で設立。



概要

- 対 象** 会員社、非会員社・一般の、若手/中堅層（20代～30代）
- 開催日** 2018年 7/18（水）、8/29（水）、9/18（火）、10/24（水）、11/14（水）、12/11（火）
- 時 間** 19時～21時
講師・受講者同士の交流のため、各回講義終了後に懇親会の開催を予定しております。
（実費負担4千円程度。詳細は受講者様にご連絡いたします。）
- 会 場** 電通銀座ビル 8F会議室
- 受講料** 会員社様 25,000円/6回分 非会員社様・一般 30,000円/6回分 （税込）
6回通しのみ、1回のみ参加受付はございません。
開講中の参加者の変更は、やむを得ない場合を除いてご遠慮ください。
- 定 員** 50名
応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。※先着順ではありません。
- 申 込** 東京広告協会ホームページよりお申込ください。
<http://www.tokyo-ad.or.jp/> 
- 6/4 申込受付開始**
- 6/18 応募〆切**
- 6/27頃 抽選結果ご連絡、受講証及び請求書発送**
- お支払** 受講証及び請求書をお受け取りになりましたら、受講料を銀行振込にてお支払いください。
※振込手数料は受講者様の負担をお願いします。
※受講料振込以降のキャンセルの場合は、返金いたしかねますのでご了承ください。
- 問合せ** 公益社団法人東京広告協会
広告未来塾事務局 石川ひとみ
〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル7F
TEL : 03-3569-3566
MAIL : miraijyuku@tokyo-ad.or.jp